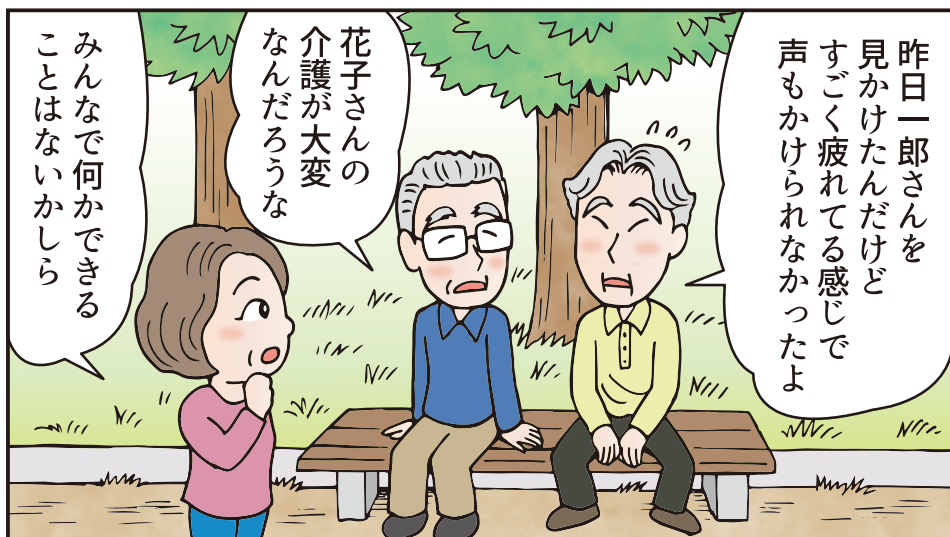
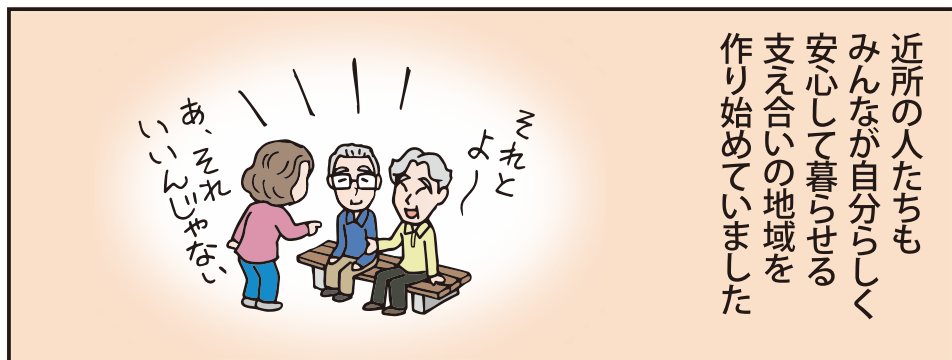
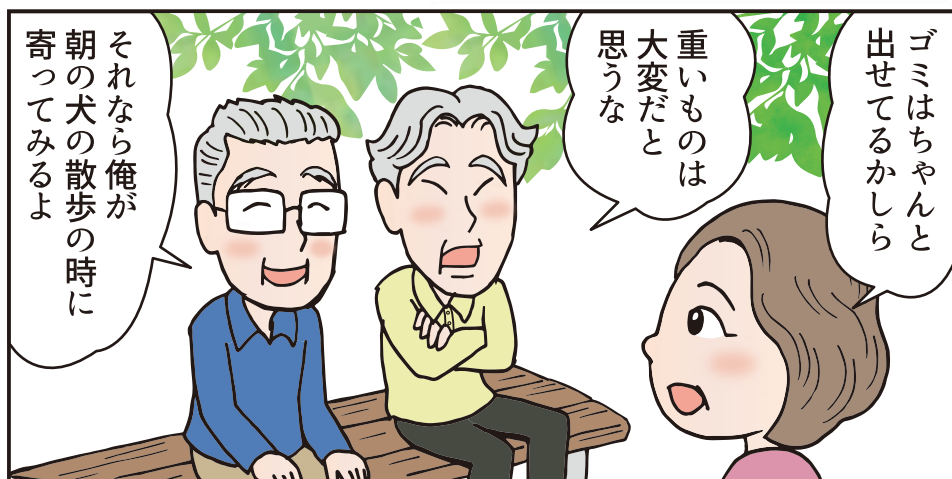
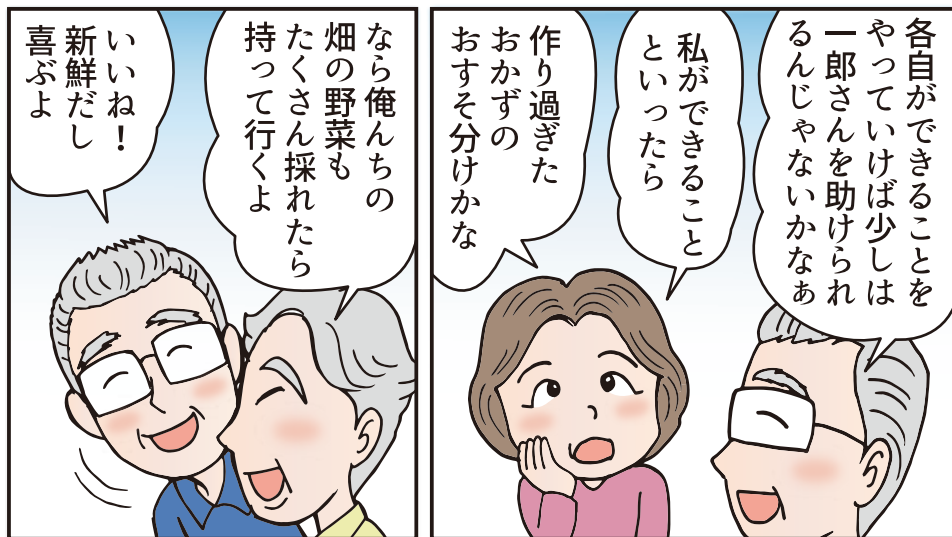
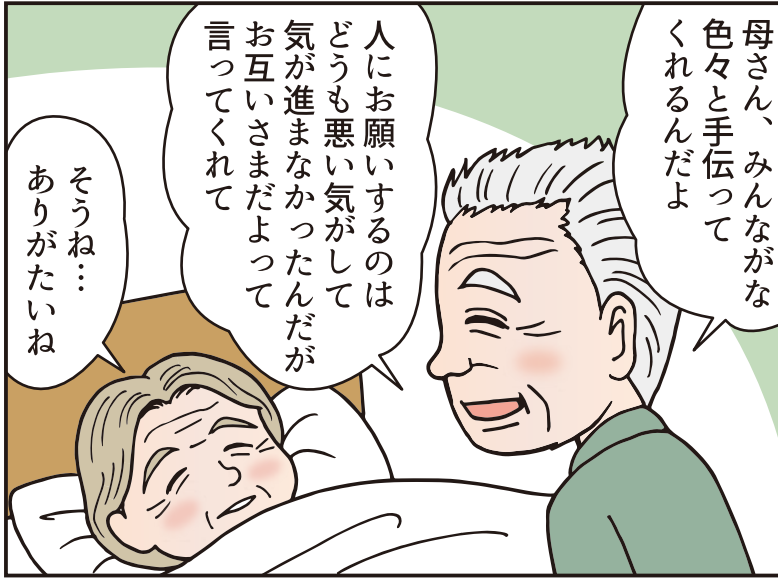
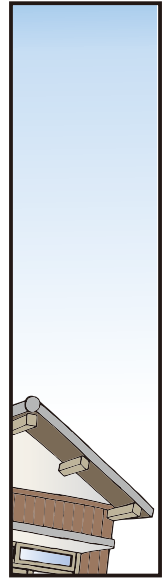


第4話

「医療・介護・生活支援を考える」



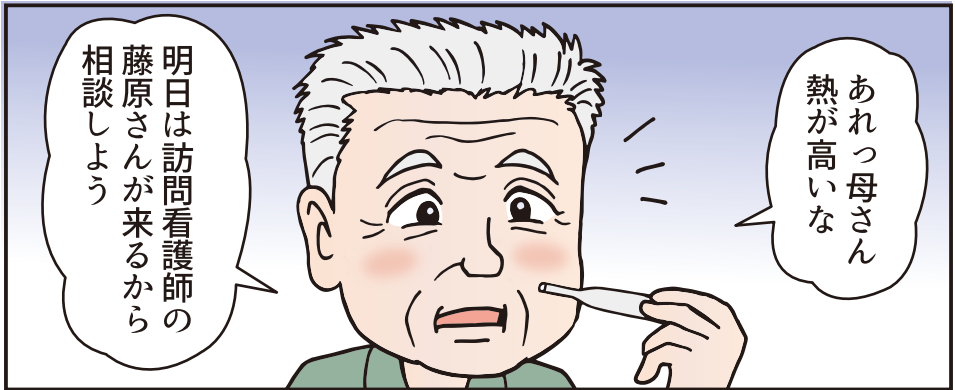




母さん、みんながな
色々手伝って
くれるんだよ

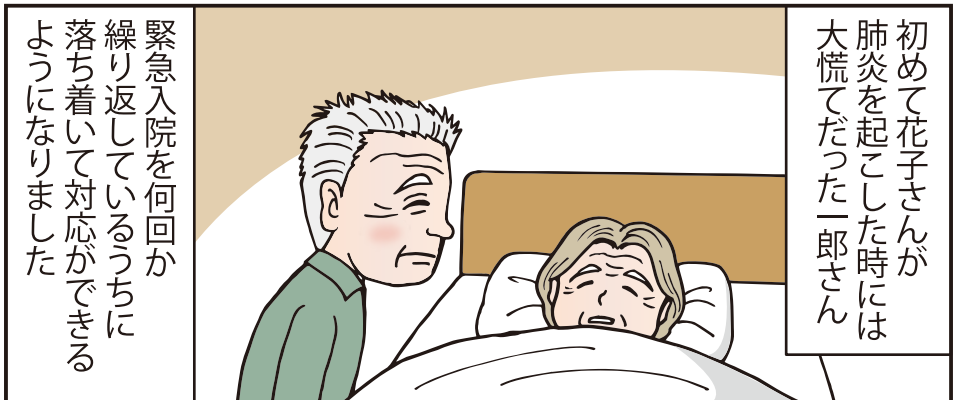
人をお願いするのは
どうも悪い気がして
気が進まなかったんだが
お互いさまだよって
言ってくれて

そうね…
ありがたいね



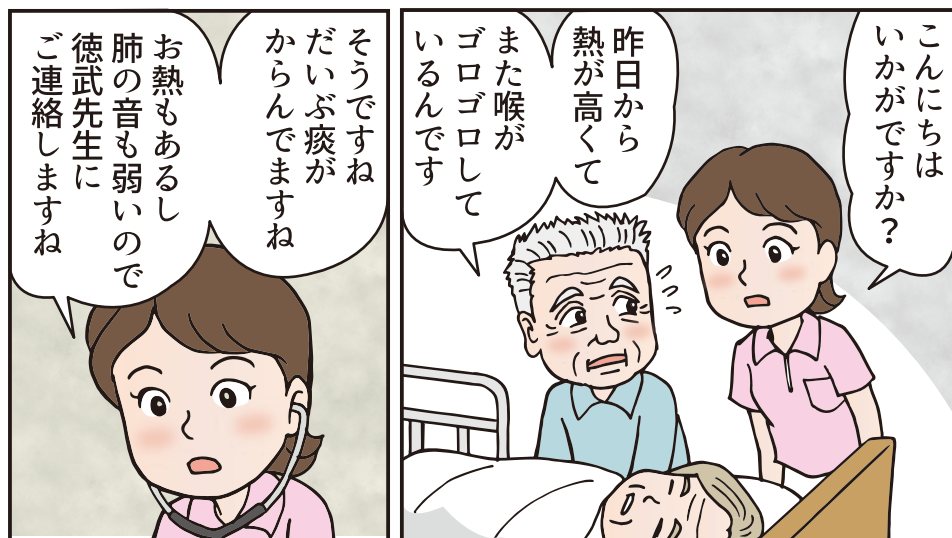
あれっ母さん
熱が高いな

明日は訪問看護師の
藤原さんが来るから
相談しよう



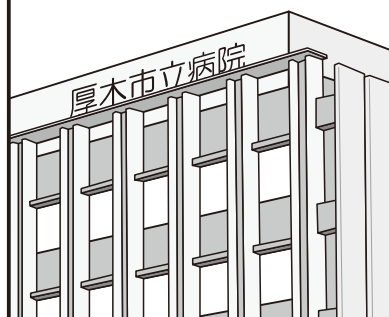
初めて花子さんが
肺炎を起こした時には
大慌てだった一郎さん

緊急入院を何回か
繰り返しているうちに
落ち着いて対応ができる
ようになりました





花子さんの治療は病院で行いたいという思いを今までも優先して入院治療してきており今回も緊急入院をするようになりました…

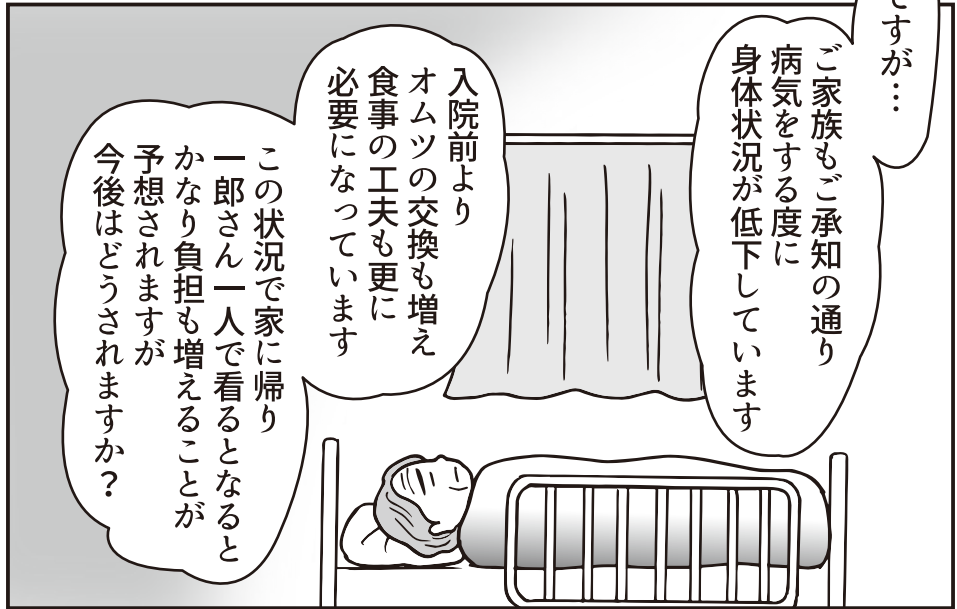


その後…

肺炎の状態は落ち着いたものの入院をする度に身体の状態は低下していきました



今回も例外ではなく更に介助することも多くなっています…



一郎さん大丈夫ですか？
花子さんが家に帰ら
たいのはわかりますが
一郎さんの身体も
心配なんですよ

そろそろご自身の
身体のことを考えて
施設入所を視野に
入れても良いと
思いますよ

ご家族で考えて
みてください
意見がまとまったら
ここにいる金子に
伝えてください

初めまして
ソーシャルワーカーの
金子といいます

これから
退院後の生活について
一緒に考えさせて頂く
相談員です
よろしくお願いします

金子先生
ひとつよろしく
お願いします

私はお医者さん
ではないので
金子で良いですよ
ご連絡お待ちしております
ね

その夜、
夢子とさつきが
家に集まりました
そして一郎さんから
先生の話の内容が
伝えられました



これから
どうする？

母さんはずーっと
家がいいって
言ってるんだから
連れて帰るしか
ないだろう

私は時々しか
来られなかったけど
疲れ切った父さん
を見るの辛かったわ

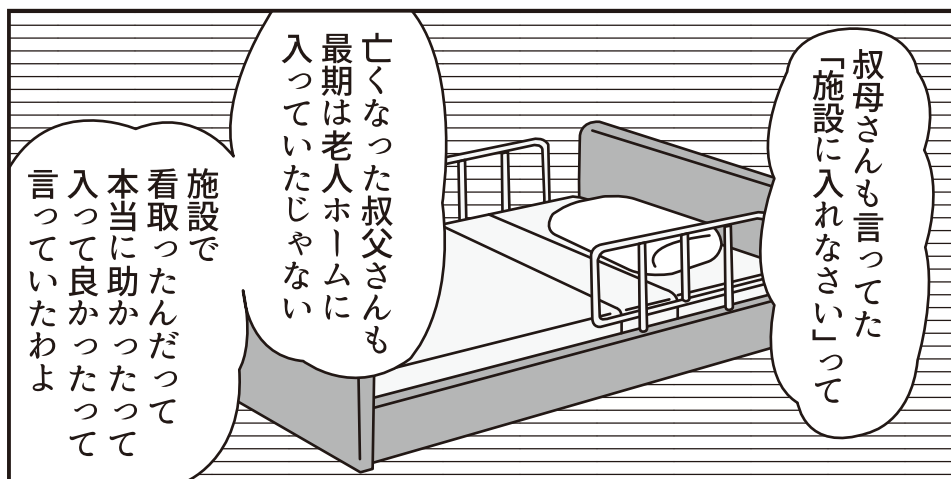
これからも
母さんの介護が
できると
思っているの？

前よりも
動けないし
オムツの回数も
増えたし
全部が少しずつ
大変になって
いるのよ！

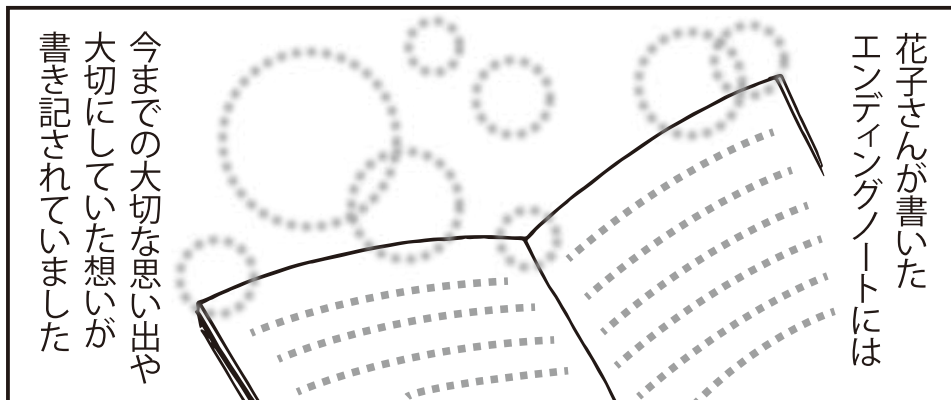
でも：母さんも父さんも
家がいいって言って
いるんだからそれし
かないじゃない

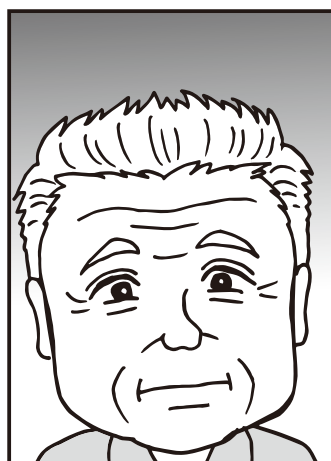
さつきは全然
家に帰って来て
いないから
わからないのよ！

力もあるし
代わりはいないし
父さん一人でどれだけ
大変だったか！









だから…母さんが
望む生活をさせて
やりたいんだよ

最期に幸せだったって
思えるようにして
あげたいんだ

ソーシャルワーカーの
金子さんには
明後日 病院に行つて
「家に連れて帰ります」
つて言ってくるよ

私は納得できないわ

疲れ切ってる
父さんの姿を
見て母さんは
幸せだったって
思えるかな？

施設に入れて毎日
会いに行つてあげれば
いいじゃない！
時々家に連れて帰つて
お泊まりすれば
いいのよ

元気な父さんに
会えれば場所は
関係ないでしょ？

母さんは
今までも
ずーっと…

大好きな家…
慣れ親しんだ場所
父さんとも
一緒にいたいって
言ってくれて
いたからな…

でも私たちにとっては
父さんも母さんも
大事な存在なの！

母さんのことばかり
優先して父さんに
もしものことが
あつたら
どうするの？

一度は自宅で
看取ろうって
決めたけど
父さんの様子を
見てたら…

心配するな
母さんのためだから
大丈夫だから…

大丈夫じゃない！
今までだって
何かあるとすぐに
私に連絡してきて

何が
大丈夫だって
いうのよ！

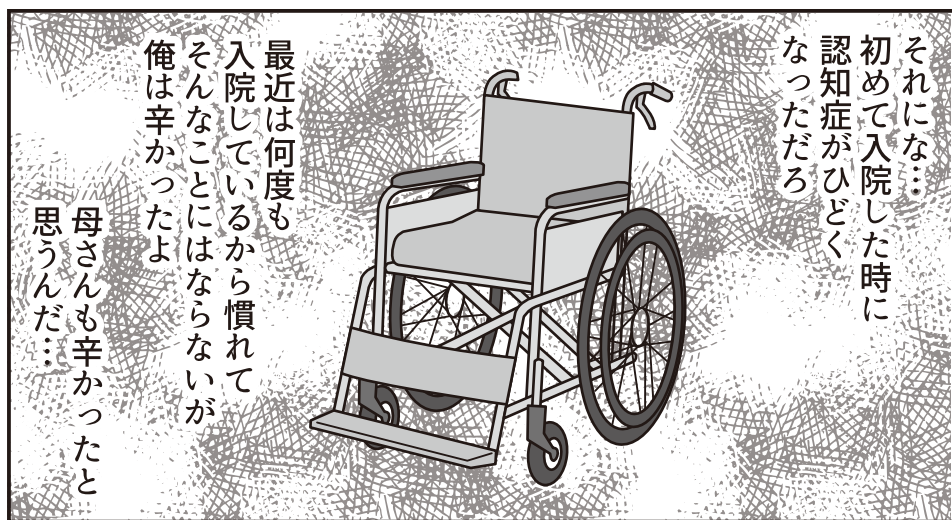
まあ
まあ

お姉ちゃん落ちついて
母さんの気持ちがい
まず一番大事でしょ
父さんだってきっと
大丈夫だってば！

何を根拠に大丈夫と
言えるのよ！
さつきは楽観的に
考えすぎっ！

私だって
私なりに
考えてるの！

二人とももう
やめなさい！



お姉ちゃん！
ここまで言うんだから
一度帰って来て
もらおうよ！

私もこれからは
月に1回くらいは
顔出しするから！

わかった
わ…

っっ

そこまで言うなら
父さんが少しでも
休める方法を
一緒に考えよ

やっぱり…
疲れている
父さんを見る
のは辛いもの…

ただ…これ以上
何をしても父さんが
休める時間が
なかったら…
施設に入って
ほしいと思う

わかった
そしたら金子さんに
相談してみよう

ソーシャルワーカーの
金子さんと、主治医の
服部先生との話し合いが
行われました





治療をすれば今までは
その効果が出ていました
肺炎も治りました
これからも治療の効果が
出る時もあるでしょう



でも…
人間の生命には
限界があります…
その時は治療は及びません

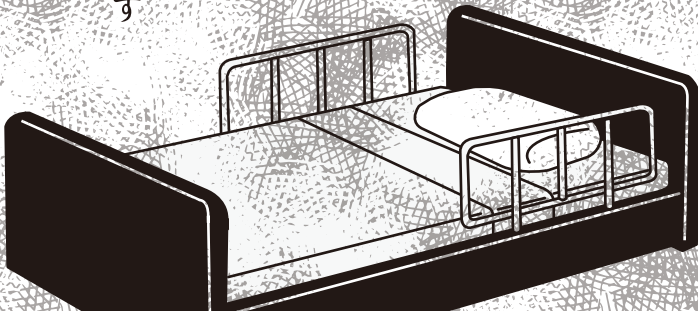
それを「終末期」と判断します

人間は年老いて最期を迎えると
食事の量が減っていき
寝ている時間が長くなります

徐々にやせていき
呼びかけにも
応じなくなります

これは
病気ではないので
治療で改善できる
ものではないんです

もちろん病院にいれば治せる
というわけでもありません





終末期のことを
みんなで共有できました
では実際に花子さんが
戻られた時のことを
考えていきましょう

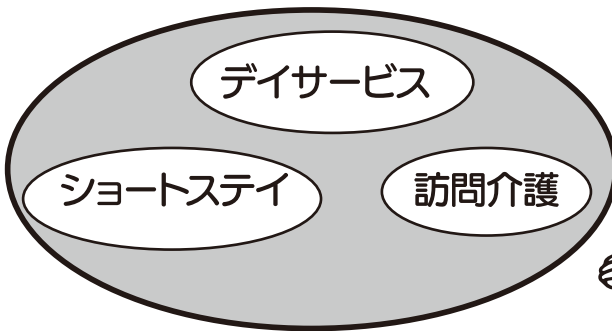
今までのままですと
一郎さんにお疲れが
出てしまうでしょう



小規模多機能型居宅介護

「デイサービス」「ショートステイ」
「訪問介護」の各サービスを
1つの事業所からまとめて受ける
ことができるセットメニューの
ようなサービス

私は小規模多機能型
居宅介護を利用
することがよいと
思っています



どのサービスも顔なじみのスタッフから受けられるので
人見知りのある方や認知症の方でも安心です